

常連さんとの交流欠かさず 休業中に生き残る道を再確認

社会貢献・環境対策委員会委員長 福地 光



弊社がある東京都東村山市と隣の埼玉県所沢市にまたがって八国山があります。「トトロの森」として有名なところですが、この森の下草刈りのボランティア活動に初めて参加したのは15年程前だったと思います。8年前から地元久米川駅前でゴミ拾い大会を主催し、地元少年バレーボールクラブや久米川阿波踊り実行委員会などの方々と交流が始まり、地元少年野球の新人戦の後援を始め、2年前から「山水カップ」という名称を使ってもらっています。



営業を再開した店頭で常連さんたちに背中中エールを送るスタッフ

突然降りかかって来た新型コロナウイルスという災難。弊社のパチンコ店も休業することになりました。東京とはいえ多摩の田舎にある弊社の店舗は常連のお客様がほとんどです。

この常連様との交流が絶えてしまふ事を懸念し、パチンコ情報は一切なしの「様子うかがいニュースレター」の定期便を幹部会ですぐに決めました。休業中3回送付

しました。

開かずのシャッターになってしまった店頭シャッターに、学校給食にお米を卸していたお米屋さんがこのお米を精米してお届けしますというポスターや、外出自粛の中、クリーニングの回収配達しますというク



方が「あれはいいことだから」とかなり保健所に掛け合ってくれたそうです。ありがたいことです。

お弁当中止以降は「行き場を失った野菜」の販売を行いました。密にならない

リーニング屋さんのポスター等を貼っているうちに地域情報ボードのようになりました。

売上減少に陥っていた地元飲食店の方々に駅前店である弊社の店頭でお弁当販売してもいいよと声をかけたところ、4店の出店があり、賑わっていたのですが認可等の問題があり保健所から中止するように言われてしまいました。

後で聞いたことですが、この時弊社とは何の取引もない東村山料理飲食店組合の幹部の

ように配慮する弊社スタッフに声をかけてくる常連様を見てると、野菜を買いに来たのか弊社スタッフとおしゃべりしに来たのかわからないくらいでした。

再会をテーマにした営業再開告知DMを封書にしてマスクを1枚同封しました。

弊社スタッフは背中に「がんばろう東村山」と印刷したTシャツを着てお迎えしました。

弊社が送付したマスクを着けて来店してくれた高齢の常連様を見て、零細パチンコ店である弊社の生きる道を再確認できたような気がします。地域と地域の人に必要とされるパチンコ店になれるよう、コロナ後も努力していきたいと思